

# 平成24年度重点政策について

◆ 平成24年度重点政策の基本的な考え方	.....	1
◆ 平成24年度重点政策のポイント	.....	3
◆ 「地域経済の再生と未来を拓く経済構造の確立」	.....	5
<sup>"Hokkaido"</sup> 北海道の多角的プロモートによる観光客の誘致	.....	7
◆ 「優位性を活かした先進的社会モデルの創造」	.....	9
エネルギー地産地消の推進	.....	11
◆ 「安心して住み続けられるふるさとの実現」	.....	13
災害に強い安全・安心な地域づくり	.....	15
道民の命を守る地域医療の充実とがん対策の推進	.....	17
安心して生き、健やかに育てる環境づくり	.....	19

# 平成24年度 重点政策の基本的な考え方

## 道政を取り巻く情勢

- 加速する人口減少・少子高齢化
- 厳しい経済雇用情勢
- 道内の産業に影響が大きいTPP協議への対応

## 現状認識

- 震災と原発事故を契機に経済や暮らしなどの価値観が大きく変化
- これまでの延長線上ではない新たな視点と方向性を持った政策展開の必要性

## 基本姿勢

■「地域」に徹底してこだわり、「世界の中の北海道」を力強く発信

■安全・安心な「食」や豊かな「自然環境」といった「北海道価値」を最大限に活用

## 重点的に取り組む政策

### 地域経済の再生と

#### 未来を拓く経済構造の確立

- 震災からの再生
- ◆本道の強みを発揮した食産業立国の推進
- ◆著しく伸びるアジアの成長力の取り込み
- 本道の魅力を活かした多彩な観光の推進
- 地域と暮らしを支える雇用の創出・力強い地域経済づくり
- 地域における産業人材の育成

### 優位性を活かした

#### 先進的・社会モデルの創造

- ◆次世代環境・エネルギーモデルの創造
- ◆我が国や世界に貢献する北海道の発信
- 環境価値の保全と資源活用の推進
- 文化力創造・スポーツ王国づくり

### 安心して住み続けられる

#### ふるさとの実現

- ◆災害に強い安全・安心な地域づくり
- ◆心がかよ「支え合い」の地域システムづくり
- 活力ある持続可能な地域づくり
- 地域の自立を支える交通・情報ネットワークの形成

## ～ 地域の視点を反映した政策の推進 ～

- 振興局を「地域づくりの拠点」に位置づけ、活力ある持続可能な地域づくりを推進
- 地域の意見や振興局からの政策提案を積極的に反映

## 多様な政策手法の活用

- ・道庁資源の有効活用
- ・多様な主体との連携・協働
- ・国の施策等の活用・提案



# 平成24年度重点政策のポイント

地域経済の再生と  
未来を拓く  
経済構造の確立

## ◆ 本道の強みを発揮した食産業立国の推進

- ▶ 我が国の食を支える力強い農業・水産業づくり
- ▶ 地域の食クラスターによる  
付加価値の高い商品づくり
- ▶ 北海道フード・コンプレックス  
国際戦略総合特区の推進

## ◆ 著しく伸びるアジアの成長力の取り込み

- ▶ ネットワークとトップセールスによる  
販路拡大支援と市場開拓の強化  
“Hokkaido”
- ▶ 北海道の多角的プロモートによる  
観光客の誘致

優位性を活かした  
先進的  
社会  
モデルの創造

## ◆ 次世代環境・エネルギーモデルの創造

- ▶ エネルギー地産地消の推進
- ▶ 成長が期待される環境産業の育成

## ◆ 我が国や世界に貢献する北海道の発信

- ▶ バックアップ拠点構想の推進
- ▶ 次世代北方型居住空間モデル構想の推進

### 大震災を踏まえた対応

- ・東北や関東企業との受発注支援
- ・避難者の受入支援

安心して  
住み続けられる  
ふるさとの実現

## ◆ 心がかよう「支え合い」の地域システムづくり

- ▶ 道民の命を守る  
地域医療の充実とがん対策の推進
- ▶ 安心して生き、健やかに育てる環境づくり
- ▶ 高齢者・障がい者にもやさしい地域づくり

## ◆ 災害に強い安全・安心な地域づくり

- ▶ 北海道地域防災計画の見直し
- ▶ 地震・津波、原子力防災対策の強化

### ～ 地域に徹底してこだわった政策の推進 ～

- ▶ 創意と主体性を活かした個性豊かな地域づくりへの支援
- ▶ 「地域づくりの拠点(振興局)」を中心とした地域の活性化と再生

## 「地域経済の再生と未来を拓く経済構造の確立」の主な事業

### ◆ 本道の強みを発揮した食産業立国の推進

事業名	H 2 3	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
【力強い農業・水産業づくり】			
○食料供給基盤強化特別対策事業費	1,257,695千円	1,598,811千円	P22
○さけ・ます増殖事業安定化特別対策事業費	4,757千円	4,737千円	P22
◎道産小麦利用転換加速化事業費	-	10,241千円	P24
【地域の食クラスターによる付加価値の高い商品づくり】			
◎食クラスター多角的連携促進事業費	-	70,000千円	P23
○戦略的食クラスター加速展開事業費	23,394千円	32,382千円	P23
◎地域食関連技術高度化サポート事業費	-	11,587千円	P23
○食関連「知の地域づくり」推進事業費	46,937千円	50,486千円	P23
○科学技術振興事業費補助金（研究開発支援事業費補助金）	68,320千円	110,455千円	P23
◎北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区マネジメント組織負担金	-	8,000千円	P23

※ 北海道産業振興条例の規則改正による企業誘致の強化：食関連産業を新たに成長産業分野に追加  
 ・新増設：[補助率]投資額の5%・10% [補助限度額] 3億円・10億円

### ◆ 著しく伸びるアジアの成長力の取り込み

事業名	H 2 3	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
【販路拡大支援と市場開拓の強化】			
◎アジア新市場開拓事業費	-	2,100千円	P26
○中国市場販路拡大事業費	11,834千円	10,427千円	P26
○北海道ブランド普及事業費	3,695千円	2,416千円	P26
○韓国市場販路拡大事業費	8,441千円	8,118千円	P26
【北海道“Hokkaido”の多角的プロモートによる観光客の誘致】	※ 6ページ参照		

注) ◎：平成24年度新規事業 ○：継続事業

# 「地域経済の再生と未来を拓く経済構造の確立」

◆ 本道の強みを発揮した  
食産業立国の推進

食産業の  
研究開発や輸出拠点化へ

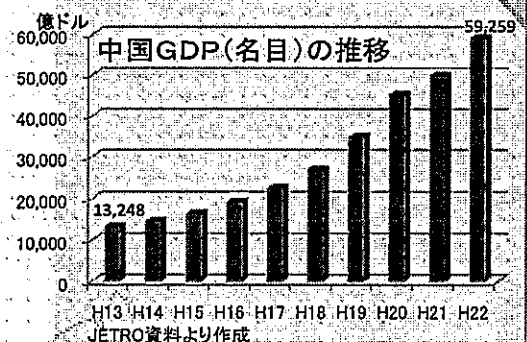
北海道フード・コンプレックス  
国際戦略総合特区

[札幌・江別、帯広・十勝、函館地区]  
研究開発拠点の拡充とネットワーク強化  
・研究・教育や輸出など支援基盤の整備  
・農業生産体制の強化

地域の食クラスターによる  
付加価値の高い商品づくり

- ▶ 地域の連携・協働によるコラボ商品等の開発
- ▶ 地域の食資源を活用したプロジェクトの創出
- ▶ 道総研と地域の試験研究機関が連携した新製品・新技術開発
- ▶ 北大リサーチ&ビジネスパークにおける食・健康・医療分野の研究開発

◆ 著しく伸びる  
アジアの成長力の取り込み



【力強い農業・水産業づくり】

- ▶ 農業基盤整備・水産資源の安定化
- ▶ 多様な食のブランド展開

【販路拡大支援と市場開拓の強化】

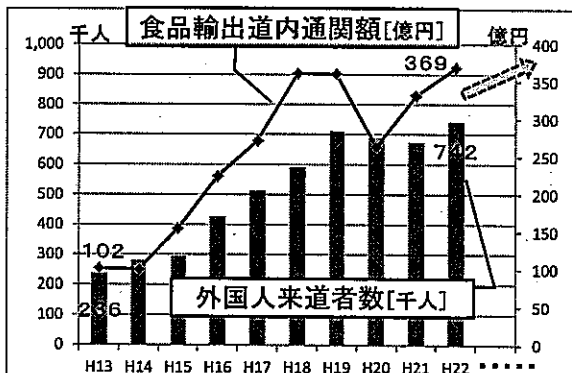
- ▶ 商談会や物産展、料理フェアの開催
- ▶ 新商品のテスト販売
- ▶ 北海道シンボルマークのPR
- ▶ アジア新興国のネットワーク構築
- ▶ 寒冷地技術・製品のロシア極東などへの販路拡大

上海事務所のネットワークと  
トップセールス

“Hokkaido”  
北海道の多角的プロモート  
による観光客の誘致

- ▶ 様々なメディアによる安全な北海道のPR
- ▶ セミナー・商談会、旅行商品販売会の開催
- ▶ インセンティブ旅行などの誘致

▶ 日中国交正常化40周年  
を契機とした事業展開



※H22年度から、「外国人来道者数」は新算定方式により調査

【 北海道”Hokkaido”の多角的プロモートによる観光客の誘致 】の主な事業

事業名	H 2 3	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
◎外国人観光客誘致特別対策事業費	—	150,905千円	P28

注) ◎：平成24年度新規事業 ○：継続事業

【 日中国交正常化40周年を契機とした事業展開 】の主な事業

事業名	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
○中国市場開拓拡大事業費	10,427千円	P26
◎日中国交正常化40周年記念 北海道・黒竜江省交流促進事業	2,577千円	P26
◎北海道・中国経済交流促進事業費	25,257千円	P27
◎日中国交正常化40周年 北海道・中国相互理解促進啓発コンテンツ作成事業	10,491千円	P27
○北海道上海事務所運営事業費	27,051千円	P26

注) ◎：平成24年度新規事業 ○：継続事業



# 地域経済の再生と未来を拓く経済構造の確立

“Hokkaido”

## ～ 北海道の多角的プロモートによる観光客の誘致 ～

### 東アジア各国からの誘致

来道者の過半を占める国と地域  
～中国、台湾、韓国、香港、シンガポール

#### 【積極的な情報発信】

- ✓ TV・新聞・Webなどのメディアミックスによる情報発信、北海道の安全性PR
- ✓ 旅行エージェント向けセミナー・商談会の開催
- ✓ 現地での北海道旅行の販売会の開催
- ✓ 旅行博への出展 など

#### 【インセンティブ旅行の誘致】

- ✓ 上海市におけるMICE見本市への出展
- ✓ 現地企業のトップなどへのセールス活動の実施 など

#### 【新規顧客層の需要喚起】

- ✓ 国際旅行博覧会への出展
- ✓ アドバイザーの招へい など

【中国からの観光客の拡大】  
中国からの来道者  
H17:1.6万人 → H21:9.3万人

### 日中国交正常化40周年を契機とした事業展開

#### 【記念プログラム】

- ✓ 上海への経済代表団の派遣、経済交流拡大のための企業・学生招聘
- ✓ 北海道・黒竜江省有識者フォーラム
- ✓ ウェブサイトを活用した友好交流の促進(情報発信)

#### 【関係事業の一体的展開】

##### ◆北海道ブランドの発信

- ✓ 観光客の誘致
- メディアミックスによる北海道観光のPR
- セミナー・商談会 など
- ✓ 経済交流の拡大
- 上海事務所の活用、バイヤー向け商談会
- 道産農畜産物・水産物のPR など

##### ◆友好地域との関係強化

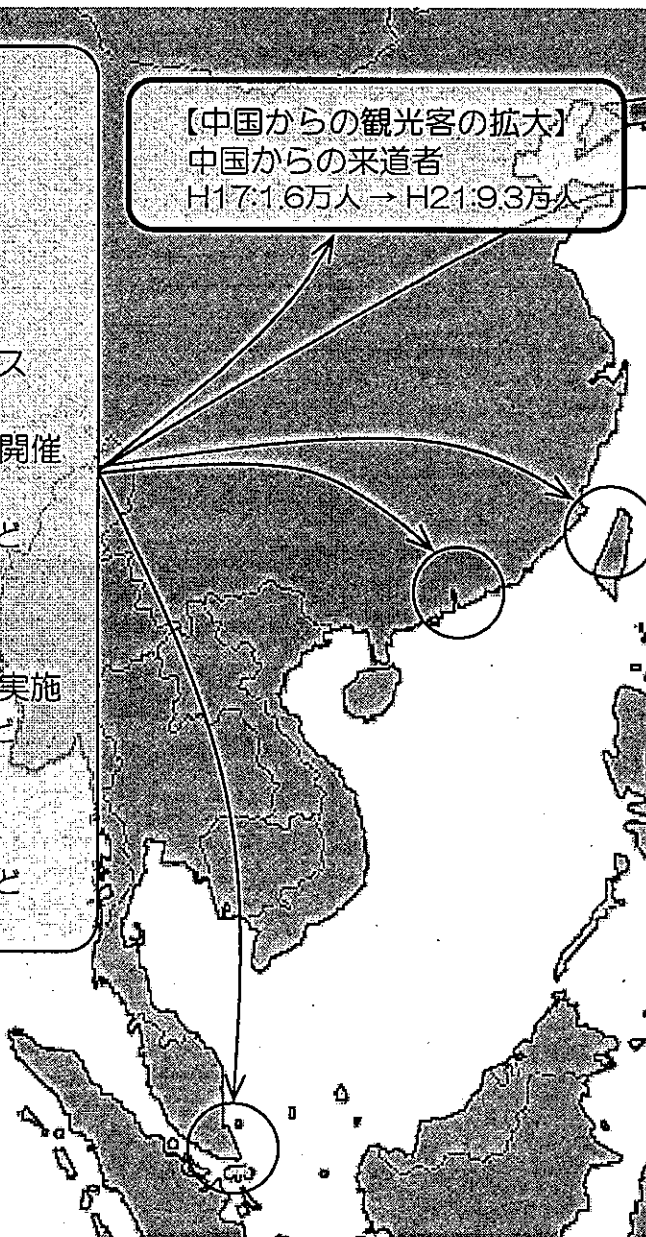
- ✓ 黒竜江省との交流
- 保健医療
- 芸術文化
- 北海道議会における交流 など

##### ◆交流拠点の整備・活用

- ✓ 上海事務所
- ✓ 北海道国際ビジネスセンター
- ✓ 北京デスク など

< 訪日外国人来道者数 >

国・地域	H17	H21
台湾	27.7万人	18.1万人
韓国	7万人	13.5万人
香港	8.7万人	12.8万人
シンガポール	1.2万人	4万人





## 「優位性を活かした先進的社会モデルの創造」の主な事業

### ◆ 次世代環境・エネルギーモデルの創造

事業名	H23	H24	「予算の概要」 掲載ページ
◎省エネ・新エネ促進行動計画推進費	—	5,197千円	P32
【エネルギー地産地消の推進】	※ 10ページ参照		
【成長が期待される環境産業の育成】			
○道産エネルギー技術振興事業費	111,145千円	73,735千円	P34
◎環境・エネルギービジネス育成・振興事業費	—	9,683千円	P34
◎環境産業誘致活動強化事業費	—	4,858千円	P34

※ 北海道産業振興条例の規則改正による企業誘致の強化：新エネルギー関連産業を新たに成長産業分野に追加

・供給業（新設）：[補助率]投資額の5%、[補助限度額] 1億円

・製造業（新增設）：[補助率]投資額の5%・10%、[補助限度額] 3億円・10億円

### ◆ 我が国や世界に貢献する北海道の発信

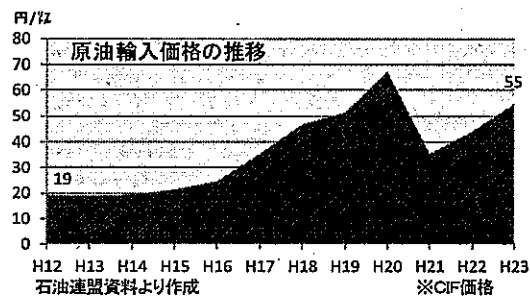
事業名	H23	H24	「予算の概要」 掲載ページ
【バックアップ拠点構想の推進】			
◎バックアップ拠点構想推進費	—	17,175千円	P35
◎道産農産物長期貯蔵品質等調査費	—	3,774千円	P35
【次世代北方型居住空間モデル構想の推進】			
◎次世代北方型居住空間モデル構想策定費	—	12,572千円	P35

注) ◎：平成24年度新規事業    ○：継続事業

# 「優位性を活かした先進的社会的モデルの創造」

## ◆ 次世代 環境・エネルギーモデルの創造

種別	道内賦存量 (億kWh)	発電への 活用割合 (%)
太陽光発電	199 【全国4位】	0.1
風力発電	3,174 【全国1位】	0.2
水力発電	101 【全国5位】	57.4
バイオマス発電	77 【全国の10%】	0.9



## エネルギー地産地消の推進

- ▶ 市町村新エネルギーの事業化促進
- ▶ 様々なエネルギーの導入モデルの構築
- ▶ 多様な主体の連携・協働による取組の促進
- ▶ 道有施設への新エネ・省エネの率先導入

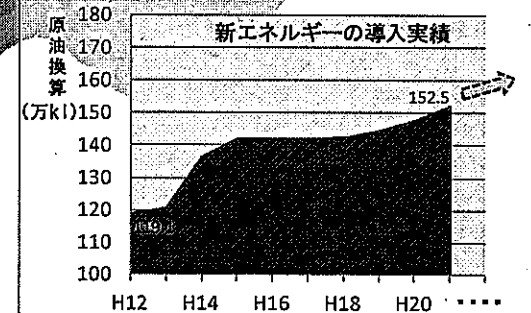
「省エネ・新エネ促進行動計画(第Ⅱ期)」

「環境産業振興戦略」

## 成長が期待される環境産業の育成

- ▶ 太陽光発電など新エネ関連産業の誘致
- ▶ 道産の先進的な技術開発や研究、  
道内技術シーズの事業化への支援
- ▶ 道内企業の参入に対する総合的な支援

道内全域での  
エネルギー地産地消の展開



## バックアップ拠点構想の推進

- ▶ 国や首都圏企業等への戦略的アプローチ
- ▶ 拠点形成に向けたモデル調査の実施
- ▶ 食料備蓄基地構想の推進など総合的な取組の展開

## 次世代北方型居住空間モデル構想の推進

- ▶ 域内資源循環やゼロエミッションなど  
環境負荷の少ない持続可能なまちづくり

◆ 我が国や世界に貢献する  
北海道の発信

## 【 エネルギー地産地消の推進 】 の主な事業

事業名	H23	H24	「予算の概要」 掲載ページ
◎地域新エネルギー導入加速化事業費	-	28,557千円	P32
◎エネルギー「地産地消」促進事業費	-	9,943千円	P33
○「一村一エネ」事業費	161,000千円	91,046千円	P32
◎バイオ燃料地産地消プロジェクト推進事業費(E10走行モデル事業)	-	7,564千円	P33
○バイオ燃料利活用普及促進事業	24,035千円	1,912千円	P33

注) ◎：平成24年度新規事業    ○：継続事業

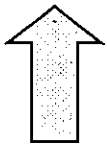
### 【参考】国の主な新エネルギー関連事業

事業名		概要	H23	H24
再生可能エネルギー等導入推進基金事業 (グリーンニューディール基金)	環境省	地方公共団体が行う、防災拠点への再生可能エネの導入	-	121億円
再生可能エネルギー・省エネルギー等の導入支援・最先端の技術開発(※本省直接執行分を含む)	経済産業省		3,022億円	5,046億円 (うち3次補正:2,419億円)
(主な事業) 再生可能エネルギー等の導入支援		地熱資源の開発調査、小水力発電の導入モデル事業支援、バイオ燃料の導入支援など	716億円	1,959億円 (うち3次補正:1,570億円)
再生可能エネルギー等の技術開発		次世代太陽光や風力発電技術の研究開発、バイオマスエネルギーの技術開発など	356億円	667億円 (うち3次補正:226億円)
農山漁村再生可能エネルギー導入事業	農林水産省	農山漁村に賦存するエネルギー源を有効活用し、地域主導で再生エネを供給する取組を推進	-	40億円 (うち4次補正:28億円)

# 優位性を活かした先進的社会的モデルの創造 ～ エネルギー地産地消の推進 ～

< 現状 >

○賦存量の見える化  
→「新エネ賦存量の推計ソフト」の作成(H23)



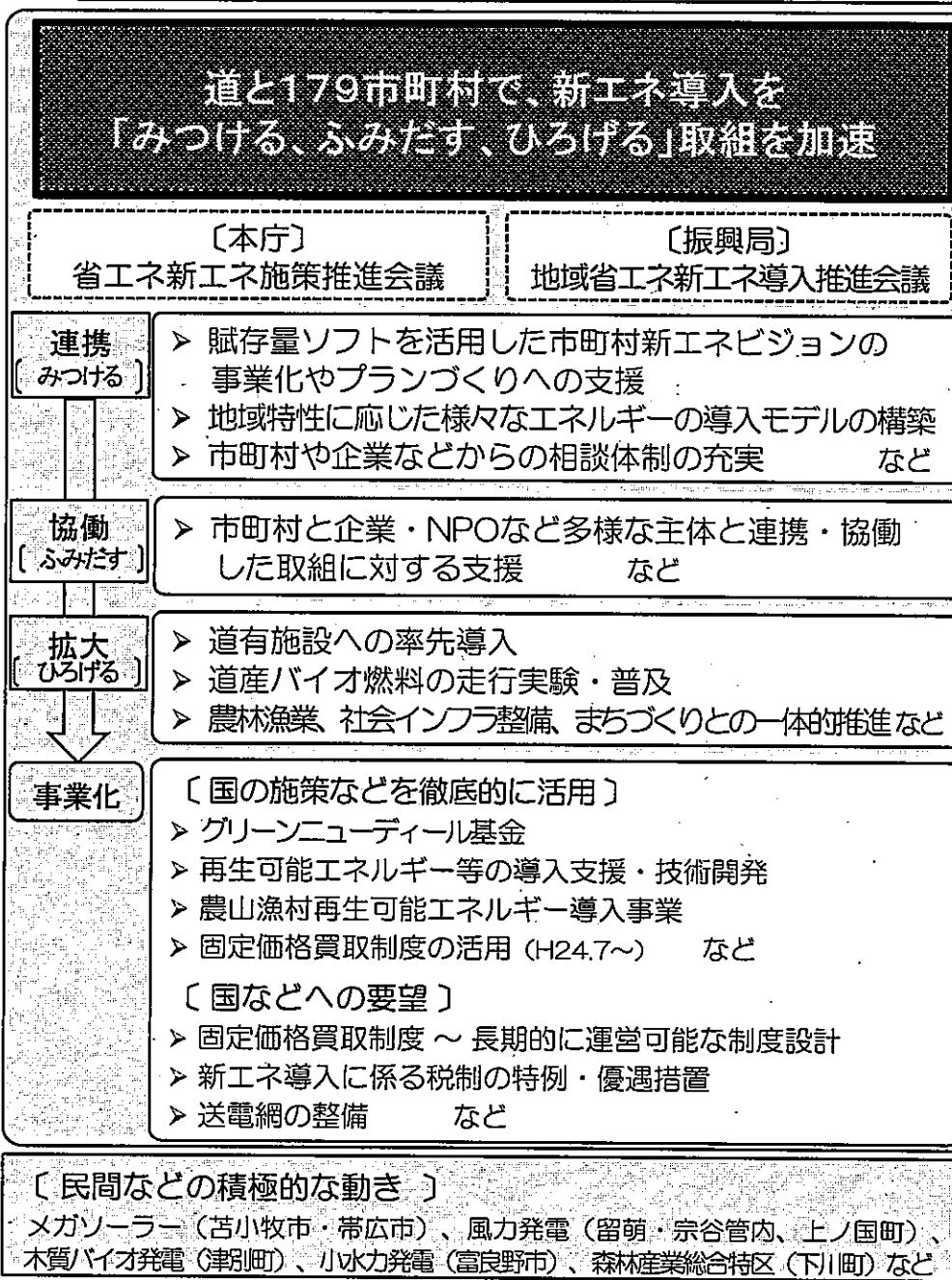
道内の賦存量に対する発電への活用割合 (%)

太陽光発電	0.1
風力発電	0.2
水力発電	57.4
バイオマス発電	0.9

〔NEDO助成金の活用〕



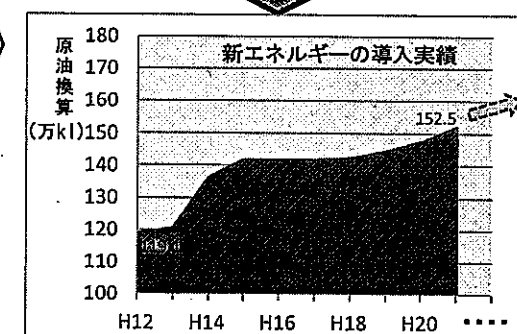
新エネルギービジョン策定:  
97市町村



## 道内全域でのエネルギー地産地消の展開

現状〔H21年度〕

設備容量等(万kW)	
太陽光	3.1
風力	25.6
中小水力	80.9
バイオマス	1.7
原油換算(万kl)	
太陽熱	0.7
雪氷冷熱	0.1
バイオマス	1.2



※ 目標値は、24年度を目途に改訂される国の「エネルギー基本計画」などを踏まえ、設定

地域づくりへの波及

## 「安心して住み続けられるふるさとの実現」の主な事業

### ◆災害に強い安全・安心な地域づくり

事業名	H23	H24	「予算の概要」 掲載ページ
【北海道地域防災計画の見直し、地震・津波や原子力防災対策の強化】	※ 14ページ参照		

### ◆心がかよう「支え合い」の社会システムづくり

事業名	H23	H24	「予算の概要」 掲載ページ
【道民の命を守る地域医療の充実とがん対策の推進】	※ 16ページ参照		
【安心して生み、健やかに育てる環境づくり】	※ 18ページ参照		
【高齢者・障害者にもやさしい地域づくり】			
○認知症疾患医療センター運営事業費	17,220千円	19,715千円	P48
◎障がい者権利擁護センター運営事業費	—	2,944千円	P48
◎地域包括ケア重点推進事業	—	110,721千円	P48
○成熟社会総合フォーラム開催費	2,000千円	1,800千円	P49

注) ◎：平成24年度新規事業 ○：継続事業

# 「安心して住み続けられるふるさとの実現」

## ◆ 災害に強い 安全・安心な地域づくり

### 震災などを踏まえた 「北海道地域防災計画」の見直し

#### 地震・津波対策の強化

- 地震被害の想定調査の実施
- 市町村の津波ハザードマップの作成支援
- 振興局と市町村との連携強化
- 地域住民による防災体制の構築・強化  
など

#### 原子力防災対策の強化

- 原子力防災計画の見直し
- 防災活動資機材の整備や  
通信連絡体制の整備  
など

#### 防災対策の基盤整備

- 情報伝達の強化
- 道庁庁舎などの耐震化  
など

## ◆ 心がかよう 「支え合い」の 地域システムづくり

### 道民の命を守る

#### 地域医療の充実とがん対策の推進

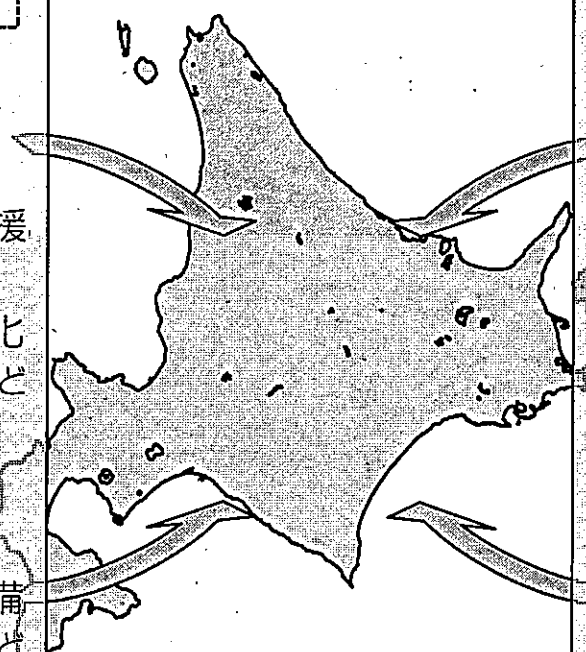
- 地域の医師確保・救急医療体制の充実
- 相談支援などがん対策の総合的な推進
- 札幌医科大学の整備(基本設計)

### 安心して生み、 健やかに育てる環境づくり

- 保育や学びなどの子育て環境の整備
- 母になる人への贈りもの運動の展開
- 国際社会で活躍できる  
グローバル人材の育成

### 高齢者・障がい者にも やさしい地域づくり

- 認知症疾患医療センターの拡充
- 障がい者の虐待予防などの体制整備
- 高齢者を地域で支える  
地域包括ケアシステムの推進
- 成熟社会総合フォーラムの開催



## 【 災害に強い安全・安心な地域づくり 】 の主な事業

事業名	H 2 3	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
◎地震被害想定等調査事業費	—	16,668千円	P42
○津波浸水予測図作成費	38,004千円	27,941千円	P43
○地域防災力強化対策費	268千円	17,351千円	P43
◎災害応急体制整備費	—	2,194千円	P43
○原子力防災安全対策費	285,939千円	514,794千円	P43
◎防災危機管理対策費	—	42,631千円	P43
○緊急時医療活動施設設備整備費	71,035千円	85,139千円	P43
◎北海道本庁庁舎等耐震改修費	—	151,850千円	P43

注) ◎：平成24年度新規事業    ○：継続事業



安心して住み続けられるふるさとの実現

## ～ 災害に強い安全・安心な地域づくり ～

新・北海道計画  
「ほっかいどう未来創造プラン」

安全・安心な  
生活の確保

北海道防災対策基本条例  
の制定(H21.4)

自助  
共助・公助

新生北海道  
オンリーワン戦略  
(H23.3)

災害に強い  
地域づくり

### 3.11 東日本大震災の発生

#### 地震・津波対策の強化

- ◎ 津波浸水予測図の改訂 (日本海沿岸)
- ◎ 地震被害想定 (十勝、釧路等5地域)
- ◎ 道警、自衛隊との連携強化
- ◎ 本庁・振興局の初動体制整備 (水・食料の段階的配備)
- ◎ 振興局の体制強化
- ◎ 訓練体系の見直し
- ◎ 振興局と市町村との連携強化
  - ・ 振興局管内の備蓄体制の検討
  - ・ 機動的・実践的な訓練の実施
- ◎ 自主防災組織率向上対策
- ◎ 民間企業との災害時協力協定の締結促進 など

#### 原子力防災対策の強化

- ◎ 原子力防災計画の見直し
  - ・ 避難シミュレーション調査 など
- ◎ 原子力防災対策の強化
  - ・ 緊急時連絡網の整備
  - ・ 防災活動資機材の整備
  - ・ モニタリングポストの増設 など

#### 防災対策の主な基盤整備

- ◎ 情報伝達の強化
  - ・ 総合行政情報ネットワークの改修
- ◎ 公共施設の耐震対策
  - ・ 道庁庁舎、道立学校
- ◎ 避難道路整備 など

「北海道地域防災計画」の見直しへ反映

【 道民の命を守る地域医療の充実とがん対策の推進 】 の主な事業

事業名	H 2 3	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
(医師確保関連)			
○医師養成確保修学資金貸付事業費	186,864千円	250,096千円	P46
○総合内科医養成研修センター運営支援事業費補助金	131,154千円	199,576千円	P46
○緊急臨時的医師派遣事業費	140,265千円	139,497千円	P46
○子どもをもつ医師の就労環境整備事業費補助金	27,793千円	33,052千円	P46
○地域医師連携支援センター運営事業費	(H23・3定計上)	54,120千円	P46
(がん対策関連)			
◎がん対策等推進事業費	—	35,199千円	P46
○がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金	118,000千円	118,000千円	P47
○広域病理診断支援・人材育成推進事業費	(H23・3定計上)	16,500千円	P46
◎札幌医科大学施設整備費	—	124,342千円	P46
○医療優先固定翼機研究運航事業費補助金	51,200千円	178,328千円	P46
○ドクターヘリ整備事業費	631,416千円	631,413千円	P47

注) ◎：平成24年度新規事業 ○：継続事業

# ～ 道民の命を守る地域医療の充実とがん対策の推進 ～

項目	現 状	平成24年度に向けた取組																		
<h2>医師確保対策</h2>	<h3>医師不足地域への医師派遣</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道内の医療施設従事医師数(H20・人口10万人対) 北海道:213.7人 / 全国:212.9人 最高:上川中部(304.7人)最低:根室(88.8人)</li> <li>○医師派遣数(H22実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急臨時的医師派遣 44医療機関 延べ3,260日派遣</li> <li>・ドクターバンク事業 15名</li> <li>・地域医療支援センター(札幌医大、旭医大)15名</li> </ul> </li> </ul>	<h3>医師確保対策の推進</h3> <p>[中・長期的な対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域枠入学者に対する一定期間の地域勤務を条件とする修学資金の貸付</li> <li>● 道が指定する総合内科医養成研修センターの運営に対する支援</li> <li>● 医学生に対する道内臨床研修病院の合同プレゼンテーションの実施</li> <li>● 札幌医科大学の整備</li> </ul> <p>[即効性ある対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師不足地域の医療機関に対し、都市部から緊急臨時的に医師を派遣</li> <li>● 子どもをもつ医師の離職防止や再就業のための相談窓口設置等に対する支援</li> </ul>																		
<h2>救急医療体制</h2>	<h3>医療提供体制</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主な医療提供体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センター 11病院</li> <li>・周産期母子医療センター 35病院</li> </ul> </li> <li>○ドクターヘリ(3機、道央圏、道東圏、道北圏)</li> <li>○小児救急電話相談事業(5,417件 H23.11末現在)</li> <li>○周産期救急搬送コーディネーター事業</li> </ul>	<h3>救急医療など地域医療提供体制の充実</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域医療再生計画に基づく取組の推進</li> <li>・第三次医療圏を単位とする高度・専門医療機関や救命救急センター等の整備</li> <li>・医療機関の連携機能の強化の促進</li> <li>● ドクターヘリの運航に対する支援(道央圏、道東圏、道北圏)</li> <li>● 医療優先固定翼機(メディカルウィング)の研究運航に対する支援</li> </ul>																		
<h2>がん対策</h2>	<h3>がんをめぐる現状</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○がんによる死亡者(H22) 17,828人 ※死亡原因の第1位 <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡率(H21・人口10万対) 北海道:93.1 / 全国:84.4</li> </ul> </li> <li>○検診受診率(H22・%)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="309 1311 981 1407"> <thead> <tr> <th></th> <th>肺がん</th> <th>胃がん</th> <th>大腸がん</th> <th>乳がん</th> <th>子宮がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>18.7</td> <td>26.8</td> <td>21.5</td> <td>28.0</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>23.0</td> <td>30.1</td> <td>24.8</td> <td>31.4</td> <td>31.4</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○がん診療連携拠点病院 <ul style="list-style-type: none"> <li>・21病院 ～ 21二次医療圏中9圏域に整備</li> </ul> </li> </ul>		肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	北海道	18.7	26.8	21.5	28.0	30.0	全国	23.0	30.1	24.8	31.4	31.4	<h3>がん対策の推進</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「北海道がん対策推進条例」の制定</li> <li>● 北海道がん対策推進委員会の設置</li> <li>● シンポジウムの開催など道民が一体となってがん対策に取り組む気運の醸成</li> <li>● 在宅医療・緩和ケアの充実や患者サロンの設置に対する支援</li> <li>● がん診療連携拠点病院を中心とした病理診断ネットワークの構築</li> <li>● 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進特別対策事業の推進</li> </ul>
	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん															
北海道	18.7	26.8	21.5	28.0	30.0															
全国	23.0	30.1	24.8	31.4	31.4															

【 安心して生み、健やかに育てる環境づくり 】 の主な事業

事業名	H 2 3	H 2 4	「予算の概要」 掲載ページ
○子育て支援対策事業費（保育所等緊急整備事業等）	8,150,833千円	5,726,122千円	P47
○放課後児童対策等事業費補助金	1,224,332千円	1,284,773千円	P47
◎「母になる人への贈りもの運動」推進事業費	—	28,597千円	P47
○児童虐待防止対策等推進事業費	125,389千円	122,104千円	P47
◎北海道グローバル人材育成事業	—	20,722千円	P47
○学力向上総合事業費	38,699千円	36,310千円	P47

注) ◎：平成24年度新規事業    ○：継続事業

安心して住み続けられるふるさとの実現

# ～ 安心して生み、健やかに育てる環境づくり ～



北の大地子ども未来づくり北海道計画

### 安心な「子育て」

< 医療・相談体制の充実 >

- 周産期、小児救急医療等提供体制の整備
- 不妊治療の相談体制の整備
- ◎ 「母になる人への贈りもの運動」の展開
  - ・ 妊婦さんへの情報発信

< 仕事と家庭の両立 >

- 育児休業制度などの普及啓発
- ◎ 出産・育児期の女性の就業促進

< 保育サービス等の充実 >

- 保育所整備の推進による待機児童の解消

### 健やかな「子育て」

< 児童の健全な育成 >

- 放課後児童クラブの整備等の推進

< 教育環境の整備 >

- ◎ 小中校における学力向上の総合的な取組推進
- ◎ 産業社会の変化や新しい時代に対応できる人づくり
  - ・ イングリッシュキャンプの開催
  - ・ グローバル教育カリキュラムの開発

< 児童虐待防止対策の推進 >

- 児相職員への専門研修の実施
- 地域保健等の虐待予防体制の充実

### 「地域の基盤づくり」

< 社会全体による取組の促進 >

- 育児不安の相談等を行う地域子育て支援拠点の整備促進
- 地域ぐるみの子育ての取組促進
- 少子化対策の取組に関する気運の醸成
- ◎ 「母になる人への贈りもの運動」の展開
  - ・ 妊婦さんの日（22日）の制定及びPR等

【少子化の現状】  
合計特殊出生率  
(H22年)

- 全道：1.26
- 全国：1.39

◎:H24年度新規事業  
○:継続事業

子どもを見守り健やかに育てる社会の実現